

公共料金一せい値上げ

十六日からバス料金

米代に つづき 四月から医療費も

主食、バス・タクシー運賃、医療費、授業料、学校給食費——年明けとともに大きく値上げ。しかも物価の暴落による公共料金のいっせいで引き上げに家計への影響は大きい。

主食 (消費者米価)

元旦から値上げになった米価は普通米一六・二割(十キロ当り千二百二十円)改定前九百五十円)と史上最高の上げ幅。大都市など「甲地」は一五・四割だが、逆に東北六県の「特産地」では一七・五割となる。配給量は現行通り一人一月米十キロだが、一般家庭用購入用には需給事情で必ずしも特定種類だけを配給できないことを明記することになった。消費者は否応なく値の張る特産米が台湾米や加州米混合のまじり徳用米を買わされるわけだ。すし屋も一部に百五十円の「にぎり」が二百円になるなど一割の値上げを実施した。

大正の仲間よ頑張れ!

餅カンパを送る主婦会活動

一月十六日から大都市、三地方都市公営バス、十一民営大手、十地方バスが平均一〇・二割値上げ。とくに公営バス料金の値上げ理由は「赤字」。全国四十八都市の公営バスのほとんどが赤字なのは、政府がいろいろな料金の掘り出しや労働者の人件費高騰より地方公営企業法による独立採算制で軌道や道路の補修まで食われていた影響が大きい。

医療費

政府は一月一日から診療報酬(医師への支払い)の九・五割引き上げの方針を決め、昨年暮中央社会保険医療協議会に諮問したが、労務者、資本金、医師各代表が政府案に反対して紛糾、最終決定は年を越した。同時に政府は四月からせいで大正労働に届けました。

大正に

カンパ送る

宮浦支部 田中静枝

梅かたき筑紫路急ぐニエンスカーで
廃山の仲間を送るの餅
石炭合理化による中小企業の
鉱山は今もさびしく、さびしく
に別れ去る者……さびしく思
い出が走馬灯のように頭の中を
めぐり、在りし日の楽しい思い
出のみが目の前にうかび、右に
左にボタ山を望み、霧深い新春
の筑紫路をニエンスカーで走る
三池の仲間をこめて送る餅
の餅をのせて……

三池主婦会では年明け早々、九州炭協の決定によって、大正労働者の資金・餅カンパ支援を二月一日中央分会長会議で十分討議を行ない、カンパ支援を決定し、その後主婦会および地域分会の協力を得て、カンパ金四六、一四四円と、餅約七〇〇個が集まりました。よって餅カンパについては一月七日早速ニエンスカー「はたかせ」で大正労働に届けました。



廃山の仲間よ頑張れ! 大正の仲間よ頑張れ!

以上、また私立高校も平均三百円程度値上げするところが多く、授業料平均は三千円台になりそう。学校の健康保険にも適用されるし、保険料は一時金や時間外手当など含めて徴収(現在は本給のみ)する構想もある。

死んでいった

三川支部 小柳重義

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

天地枯れ初む

宮浦 高橋 龍生

極月

宮浦 高橋 龍生

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

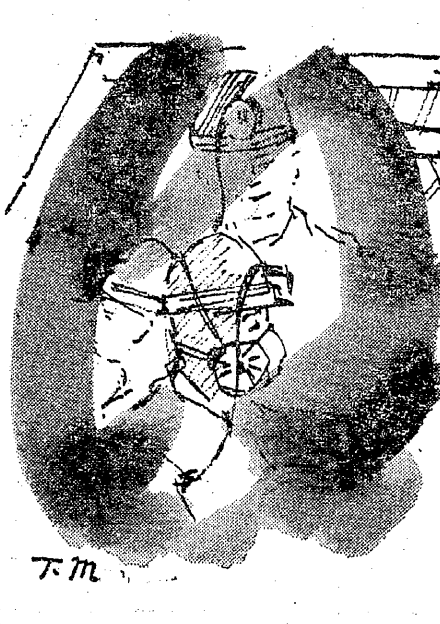
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ

死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ
死んでいった
あいつ



下丸

連載小説

音

—みいげ大変災のなかから—
加藤 説 夫

加藤 説 夫